

第5回前橋市障害者卓球競技大会兼第32回ふれあいスポーツプラザ卓球競技大会 競技上の注意

本大会は、(公財)日本卓球ルールブック 2022・令和6年度全国障害者スポーツ大会競技規則集及び以下の本大会申し合わせ事項を適用します。

1. 共通項目

- (1) 各部ごとに予選リーグを行い、各組上位者による決勝トーナメントを行う。
参加人数によって決勝トーナメントは行わずリーグ戦のみで順位を決定する。
- (2) リーグ戦の順位については、①勝敗 ②相互の対戦試合結果 ③得失ゲームの比率 ④得失ポイントの比率の順に順位が決定するまで比較する。
- (3) 身体的理由により正規のサービスが困難な選手に限り、審判員の承認を得、審判員の相手方にサービスの変更を知らせた場合には、サービスの規定を緩和することができる。また、知的障害についても審判員が対戦者の不利にならないと認めた場合、サービスの規定を緩和することができる。
- (4) 肢体不自由者及び知的障害者については、ラケットを持っていない手がコートに触れても失点としない。ただし、故意にコートを支えて打つことやテーブルを動かしてはならない。
- (5) サービス・レシーブ及びエンドを選択する権利は、ジャンケンにより決定する。
- (6) 当日リーグによって欠席が多数出た場合は、人数調整のためリーグの変更を行う場合もある。また、決勝トーナメントが出来ない場合は、リーグ戦のみで順位を決めることもある。

2. 硬球共通項目

- (1) 試合は、予選リーグ11点5ゲームマッチ、決勝リーグ、決勝トーナメントは11点5ゲームマッチとする。
- (2) 試合球は、日本卓球協会公認指定球(40mm・白)を使用する。

3. 車椅子使用者特記事項(全国障害者スポーツ大会競技規則集抜粋)

車椅子使用者が正しく出されたサービスをレシーブする際ボールが、①レシーバーのコートに触れた後、ネット方向に戻った場合、②レシーバーのコートに止まった場合、③レシーバーのコートに触れた後、どちらかのサイドラインを横切った場合は、ラリーはレットとなる。

ただし、「レット」が宣告される前に打球した場合は、そのまま有効とする。

4. ラージボールの特記事項

- (1) 試合は予選リーグ、決勝トーナメントすべて11点3ゲームマッチとする。
- (2) 試合球は、日本卓球協会公認指定球(44mm・オレンジ)を使用する。
- (3) ラバーは、表ソフトのみの使用とする。
- (4) ポイントが12オールになった場合には、先に13ポイントになったチームを勝ちとする。

5. その他

- (1) ゼッケンは参加者全員が着用すること。
- (2) 招集のコールは2回までとする。2回コール(1回目のコールから5分以内)で指定されたコートに入

らない場合は棄権とみなす。なお、競技の進行については早まる場合もあるので、進行状況と場内放送には各自十分注意すること。また、会場を離れる場合は競技の進行に支障のないように注意すること。

(3) 予選リーグ終了後、決勝トーナメントを行う。予選通過者は場内放送に注意すること。

(4) 決勝戦は各区分同時に行う。ただし、進行状況により変更もある。

(5) ゲーム中のアドバイスについては、競技進行に影響がないようにすること。

(6) 昼食休憩の時間は設けないので、各自調整すること。

(7) 表彰は準備が整いしだい順次行うため、場内放送に注意すること。

※リーグ戦のみで順位を決める年齢区分もある。

会場での注意事項

(1) 大会中の怪我等については応急処置のみとする。

(2) 競技中のフラッシュ撮影は禁止とする。卓球大会受付で撮影許可証発行の手続きを行うこと。

(3) 競技場内での食事は禁止とする。食事は2階観覧席を利用すること。

(4) 競技場内での水分補給は可能とする。

(5) ゴミは各自持ち帰ること。

参加申込状況

	男子	女子	計
硬球の部 ①39歳以下	14名	2名	16名
②40歳以上60歳未満	5名	5名	10名
③60歳代	7名	4名	11名
④70歳以上	13名	5名	18名
⑤車椅子使用者	4名	1名	5名
ラージボールの部	6名	5名	11名
計	49名	22名	71名